

松元地域における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和7年6月25日(水)18:00～19:00

場所:松元支所3階 大会議室

鹿児島市 市民協働課

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和7年6月25日（水）18：00～19：00
場所：松元支所3階 大会議室

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	石谷校区まちづくり協議会	<p>様々な活動は自治公民館（町内会）が担っています。地震や台風などの自然災害、子供や高齢者を対象とした犯罪、高齢者の孤立など、地域が一体となって対応しなければならない問題に対して、町内会の活動意義は高まっていると考えます。</p> <p>しかし、宅地造成が進み、世帯数は増えているにも関わらず、新規加入は進まず、既存の住民も高齢化による離脱で公民館加入率が減少し、十分な活動ができていないのが現状です。</p> <p>是非、世代に関わらず、誰もが加入メリットを実感できるような具体的な政策を早急にとっていただきたいと思えます。</p>	<p>町内会は、いろいろな活動の基本となる非常に重要な組織だと考えております。市長と語る会を市内全域で開いていますが、どこの地域でも町内会の加入率、加入促進は共通する課題として皆様からお尋ねをいただいております。市長就任当初から、そこを認識し色々な取組を行ってきました。</p> <p>例えば、若い方が引っ越してきたときに町内会に入ってもらうことが重要で、最初が肝心と考えております。そこで、若い方でどこの町内会か分からない方にネットから町内会加入を申し込んでもらえれば、市の方から町内会長につないで勧誘に行ってもらおうという仕組みを導入しております。</p> <p>また、家を買ったり借りたりする際に、その家を建てる業者であったり不動産の仲介業者と連携をして、引っ越してくる人に町内会を勧める取組や、市内の町内会で若い方が引っ越してきた人に町内会に入ってもらった良い事例を全ての町内会などに紹介するという取組を進めております。</p> <p>さらに今年度から、水族館や動物園、科学館等の施設の無料クーポンを町内会に加入した方に差し上げるといった新たな取組や、役員の負担を減らす意味で、集金、回覧板をITを使ってスマホでできる実証実験を行っております。こういった事業を通じて、町内会に加入しやすい、そして続けやすい取組を進めていきたいと考えております。</p>	市民局	<p>市長回答のとおり</p> <p>町内会加入申込プラットフォームや、令和7年度町内会新規加入特典クーポンの詳細については、市ホームページをご参照いただきたい。</p> <p>【加入申込プラットフォーム】 https://www.city.kagoshima.lg.jp/shimin/shimibunka/chiiikishinko/machizukuri/kocho/chonaiikai/chonaiikai.html#:~:text=%E3%81%A7%E3%81%AF%E3%81%82%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%9B%E3%82%93%E3%80%82-%EF%BC%88%EF%BC%89%E5%8A%A0%E5%85%A5%E3%81%AE%4%BB%95%E6%96%B9,-%E5%8A%A0%E5%85%A5%E3%82%92%E5%B8%8C%E6%9C%9B</p> <p>【町内会新規加入特典クーポン】 https://www.city.kagoshima.lg.jp/shimin/shimibunka/chiiikishinko/machizukuri/kocho/chonaiikai/chonaiikaishinkikanyutokuten.html</p> <p>町内会費のオンライン集金について、令和5年度に4団体が参加して実証実験を実施しました。実証実験の概要やその結果等、町内会における好事例は市ホームページをご参照いただきたい。</p> <p>【町内会費のオンライン集金】 https://www.city.kagoshima.lg.jp/shimin/shimibunka/chiiikishinko/kaihionline.html</p> <p>【町内会等における好事例】 https://www.city.kagoshima.lg.jp/shimin/shimibunka/chiiikishinko/chiiikicomunity/koujirei.html</p>
2	石谷校区まちづくり協議会	<p>当協議会は、2022年度に「～町田久成から未来へ～石谷夢プロジェクト」を立ち上げました。松元支所や石谷小学校などに手厚い支援をいただきながら活動を行っています。市からも助成金をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>郷土の歴史研究家の先生による講演会や、石谷田んぼのマップ作り、SNSでの情報発信、イベントブースでの展示など、地域外の方々にも広くアピールをしています。今後は、史跡の整備、看板や横断幕、のぼり旗の設置、さらに理解を深めるために、町田久成ゆかりの東京国立博物館や三井寺の視察をしたいと考えています。</p> <p>しかし、特定事業補助金は旅費での使用に制限があるほか、何より金額が少なくて困っています。どうか活動がスムーズにできるように補助金を使いやすくしていただき、頑張る地域に重点配分をお願いしたいと思えます。</p>	<p>町田久成の検証を含めた地域活性化についてご紹介をいただきました。これも素晴らしい取組で、まるっとマルシェなどで石谷校区の皆さんの取組を拝見しているところです。学生時代、東京国立博物館に行っていたのですが、その頃は町田久成のことを知らず、鹿児島島の松元の方が東京国立博物館を作ったということを知らなかったものですから、感慨深い想いがあり、一人でも多くの方に知っていただきたいと思っております。</p> <p>町内会コミュニティの活性化に資する協議会に向けた補助金については、なかなか重点配分は平等性の観点から難しいですが、どの部分が補助金の対象となるかご相談にのることができますので、ぜひ支所にお尋ねいただければと思います。</p> <p>将来の可能性としては、市長就任以来、松元を含めた5地域の地域活性化に使える予算枠を新たに創設をしたところであり、そういった取組の一つとして位置づけることは可能ではないかと思っております。いずれにしても、地域活性化の予算枠は、地域の方々や地域おこしのためにどういう事をやらなければいけないと考えているのか、まずプランを作って、その上で予算化するというところでやっているの、そういった話し合いができればと思っております。</p> <p>いずれにしても、石谷校区の皆さんが、この町田久成を軸に、特に地域の子供達に学んでもらうということは非常に素晴らしい取組だと思うので、これからも注目をして行きたいと思っております。</p>	市民局	<p>市長回答のとおり</p>

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和7年6月25日（水）18：00～19：00
場所：松元支所3階 大会議室

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	上直木自治 公民館	<p>松元地区は活性化が進んでいるというお話がありましたが、それは石谷校区、春山校区、松元地区で、東昌校区の方は高齢化が進んでおり過疎化もあって、空き家も多いところ。ですから、なんとか若い人たちが住む地域にしたいという思いがあり、とても自然が豊かで良い所なので、若い子たちに来ていただいて、東昌小学校も盛り上げていきたいと地域のみんなで頑張っています。</p> <p>しかし、なかなか資金繰りも難しく、また住宅を建ててほしいと思っても、茶畑が広がっており、詳しくはわからないのですが、農振地区でなかなか住宅も建てられず、若い人たちを入れられないということがあるので、農振地区の制約を緩やかにする方法はないものかと思っております。</p>	<p>松元全体としては、人口が20年で1.5倍になっているのですが、一方で松元の中でも差が出てきていると認識しており、春山・石谷辺りがベッドタウンとして人口が増える一方で、その周辺はなかなか厳しい状況であるということも認識しております。</p> <p>住んでいただけるのが一番いいのですが、その前の段階をまず目指していきたいと思っております。いきなり引っ越して来ようというのはハードルが高いので、その前の段階として、週末だけ自然体験をしに遊びに来てもらって、気に入ったら住んでもらう、そういう段階を経る必要があると思っております。</p> <p>また、空き家の活用については、空き家活用アドバイザーという不動産等の専門家の方を派遣する取組を行っておりますので、興味がありましたらぜひ建築課や支所へご相談いただければと思っております。</p>	産業局 建設局	<p>【産業局】 農業振興を図るべき地域として県が指定した農業振興地域の中で、基盤整備事業の受益地などの優良農地を、農業以外の利用が制限される農用地区域に指定しております。松元地域では、松元ダム の受益地となっている茶畑などが該当しますが、土地の利用計画次第では農用地区域からの除外が可能な場合があるので、個別に相談いただきたい。</p> <p>【建設局】 市長回答のとおり 空き家の活用については、建築指導課へご相談ください。</p>
4	上直木自治 公民館	<p>子どもたちが増えてくれれば私たちも嬉しいのですが、東昌小の5、6年生になると中学校に行くのに35号線を自転車で走ります。とても危険な県道なので、子供たちの安全を確保した方がいいと住宅を離れる人も中には出ている状況です。そこで、35号線は県道ですが、できましたら市も県と取り組んでもらって、35号線の道路を広げてもらえないでしょうか。</p>	<p>通学路の安全対策も非常に重要だと思っております。県道35号線などにつきましては、地域の方々の要望を踏まえて、市としても定期的に県に要望を伝えておりますので、小学校又は中学校のスクールゾーン委員会等でこの箇所ということを取りまとめていただき、また支所を通じてご要望いただければ、道路を管理している県の方にお伝えしていきたいと考えております。</p>	建設局 教育委員会	<p>【建設局】 市長回答のとおり</p> <p>【教育委員会】 通学路の安全対策として毎年、各学校から寄せられた危険箇所をとりまとめ、学校、教育委員会、道路管理者、警察等を含めて合同点検を実施しております。要望があれば学校等でとりまとめ、対応を検討いたします。</p>

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和7年6月25日（水）18：00～19：00
場所：松元支所3階 大会議室

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鹿児島市松元保全運営委員会	<p>この活動を約20年しているのですが、当時の活動中心メンバーだった人たちが少なくなってまいりまして、後継者不足で、これから5年、10年先をみると、畑、田んぼの担い手が少なくなる一方で機械の投資もなかなかできなくなります。</p> <p>鹿児島市には都市農業センターがあって農業の推進に力を入れていただいているのですが、今後は是非そこにITの機械、あるいはトラクターなどの農業機械を揃えていただいてレンタルできるようなシステム、いわゆる鹿児島市版の農業公社のような構造を検討していただけないかということをお願いします。それに加え、実際働いている農業者を登録して、例えばお茶、田植えの忙しい時期や稲刈りの時期に、お互いに助け合う、協力できる人たちがいると思いますので、そういう人たちの登録して、必要な時に必要な人材が回せるような仕組みづくりができればありがたいなと思っています。</p>	<p>農業振興は、非常に重要であり、農業の担い手をどう確保していくか、大きな課題だろうと思います。そのために若い人を中心に新規就農者の方が入りやすく、そして稼げる農業になることが大事だろうと考えております。</p> <p>そこで、二つのアプローチが必要で、一つは入り口のハードルを下げるという意味で、地域就農者の補助を行い、そして例えば共同利用するトラクター等について導入する場合に県、市で補助を出させてもらう取組を行っております。</p> <p>また、最近都市農業センターで二つ新しい取組を始めています。一つはITを使ったスマート農業で、機器を実験的に導入して、どういう事ができるのかということを見てもらう。さらには実際に導入する時にも補助を出しています。まずは、これから少ない人手で、なるべく多くの作物、そして土地を耕していきたいということから、ITを使ったスマート農業の取組を実験していますので、是非都市農業センターにお問い合わせいただきたいと思ひます。そして実際見て、これいいなと導入した時の補助も用意しておりますので、是非ご覧いただきたいと思ひます。</p> <p>今色々なスマート農業の機器がありまして、自動で草払いなどをやってくれるものもあるのですが、もう一つ重要なのが今まで農業は土作りから作物を育てる熟練の技というのが必要であって、若い人は作物を全部枯らしてしまったりするとなかなか稼がないわけです。ところが、どういう温度の時に植えたり、手入れをしたり、もしくは、ハウスのものであったら湿度や日照など、ITを使ってデータ化をされておひまして、こういうときにこういうことをやればいいという事が出来ているので、それに従えば、初めて農業をやる人でもそれなりに収穫が得られるようになっている。こういった機器を今後紹介して行きたいと思ひしておりますので、是非注目していただきたいと思ひます。</p> <p>そして、もう一つ、都市農業センターで始めているのが六次産業化で、作物をそのまま売だけではなくて、加工品を高く売っていきこうというものです。加工するにも最初から機械を買うのが大変なので、都市農業センターでフリーズドライだったり加工ができる機械を入れており、時間貸し皆さんが作った作物から色々な加工品を作っていたら、いけそうだと、となったら補助がありますので機械を導入していただく。こういった取組を行っておりますので、是非新しくなった都市農業センターを大いに活用していただきたいと思ひしております。</p>	産業局	<p>市長回答のとおり</p> <p>都市農業センターでは、スマート農業機器の効果を生産者に確認してもらうため、現地での実演や機器の貸し出しを実施しておりますが、トラクターなどの農業機械のレンタルを行う予定はないところです。</p> <p>なお、現在のところ農業公社設立の構想はありません。</p>
6	鹿児島市松元保全運営委員会	<p>私も保全隊の仕事を見ますと、高齢化により農業に従事する人たちの従事者数は減っているというのが実情です。若い世代も増えてはいるのですが、他方では10代の農業への従事者が少なくなっております。</p> <p>これまで市長を中心にした行政の力で、お茶を中心にした援助、もしくは、技術者の指導等があってここまで来たのではないかなと思ひしております。農業とか建設に関わる職員には定期的な異動がありますが、農林水産業も市の地域の稼ぐ力向上のプロジェクトでありますので、ぜひ行政の方でこれに携わる専門職の職員の異動をできたら最低5年ぐらいにしてほしいというのが私の要望です。</p> <p>なぜ5年間かと言いますと、例えば3年で異動される職員の方もいるが、よく地域を知らずに次の異動先にいくということで、地域とのパイプが細いのではないかなと思ひ、これを大きくするためにこの地で行政に携わる人の異動を考えていただきたいと思ひしております。</p> <p>できることなら地元を知り、農家を知り、そしてパイプを大きくしてほしいと思ひしております。</p>	<p>実は技術職の職員採用がとても大変な状況となっております。市役所は人気の職場で倍率がすごいと思われがちなのですが、人口減少に伴ってこの倍率がすごく落ちてきています。事務系はまだ数倍あるからいいのですが、技術系は本当に採用するのに苦労しています。ですので、そういう中で異動も含めてどのように組めば、勤めてもらおうと思ひてもらえるか、そういったところも含めて検討させていただきたいと思ひしております。</p>	総務局	<p>農業職を含めた技術職の採用については、試験内容の見直しを行う等、受験しやすい体制を整備しながら職員必要数の確保に努めている。</p> <p>人事異動については、能力主義と適材適所の職員配置を基本としていますが、地域との関係性構築など業務の状況や人材育成の観点も踏まえながら実施してまいりたい。</p>
7	鹿児島市松元保全運営委員会	<p>下鶴市長と語る会があるのですが、旧五町にはそれぞれの支所長という責任者がいると思ひます。支所長という立場は、市長の片腕となって地域で働いていると思うので、市長と語る会も大事ですが、できたらこの地域の支所長と語る会も提案したいと思ひしております。</p>	<p>支所長と語る会、非常に面白いと思ひますので、ぜひ検討させて頂きたいと思ひしております。その際には、支所長に色々意見も聞いてみたいと思ひますけれども、当時の町長みたいなものですから是非地域の皆さんと語ってもらいたいと思ひますし、検討させていただきたいと思ひしております。</p>	市民局	<p>現行の会議の場を見直すなど、地域住民・団体と意見交換する場の充実を検討してまいります。</p>

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和7年6月25日（水）18：00～19：00
場所：松元支所3階 大会議室

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	鹿児島市松元土地改良区	<p>ダムを作って水を貯めて、その水をお茶畑中心に供給していく。このダムを管理する仕事が土地改良区の仕事であって、そこからディーゼルの大きいエンジンとそれに匹敵する電気のモーターと二つで、山の上のタンクに水をあげて、畑に一斉に水を出す。そして、圧が足りないから加圧のポンプを回して、この作業と配管等の維持管理の一切を土地改良区で行っております。</p> <p>今一番の問題は、電気代が上がっており、大きな赤字になっている。農家の負担金もあるのですが、年齢も上がってきており、数年前負担金を値上げしまして、農家の負担金を値上げする情勢ではないという状況です。大半の農家はお茶が中心ですから、生産量は静岡を抜いて日本一ですが、価格はまだ静岡に比べたらすごく安いんです。だからお茶の農家さんの負担金を上げる状況ではないというのが現状です。</p> <p>そして、もう一つ収入の大きな部分を占めているのが市からの補助金で、ダムを計画した時から着工する時期、30年、40年前、町議会議員として議論した一人であるのですが、やはりこういった仕事については行政がかなりの部分を負担して進めてきたという経緯がありますので、昨今の経済的な現状に鑑み、市の助成金を見直していただきたいと思います。</p> <p>実は、来月の頭に市の担当課を通じて、順をおって市長のところへ上がっていく話にしたいと、手順を踏んでおります。是非、担当課なり財政部署からそういった話があった時はご理解いただいて、ご協力いただけたらありがたいと思います。</p>	<p>昨今、燃料高騰、そして物価高騰に伴い、国から折に触れて、燃料高騰・物価高騰補助に使うようにという交付金がきております。国から推奨事例が示されますので、その中に入っているのかどうかというところも踏まえて検討させていただきたいと考えております。</p>	産業局	<p>市長回答のとおり</p> <p>松元土地改良区への補助金は電気料金や燃料費等は対象としておりませんが、改良区の運営に重要な財源とされていることから、予算編成時には優先的に確保し、毎年前年並みの金額を確保しております。今後、土地改良区が活用可能な国、県などによる交付金の動向を注視するとともに、土地改良区の安定的な運営に向けて、関係者間で知恵を出し合い、実効性のある打開策を講じていくことが重要であると考えております。</p>
9	鹿児島市松元土地改良区	<p>この町の中心がお茶なのですが、なかなか日本人のお茶の需要というのには限界が来ていまして、松元のお茶も大部分がペットボトルの飲料メーカーと契約をしています。一部有機農業を実践しまして、外国への輸出向けのお茶ということで取り組んでいる青年経営者もおります。</p> <p>鹿児島市の大事なお茶の産地として稼ぐ力のお話をされましたが、海外展開も踏まえて、松元のお茶の販路拡大、値段を上げるための手立てもしていただけたらありがたいと思います。</p> <p>松元の茶業の若い世代が頑張っていますので、今後とも是非お願いしたいと思います。</p>	<p>この一ヶ月間に松元の二つのお茶会社と、新しく工場を作るということで、市が補助を出すにあたっての前提となる立地協定を結ばせていただきました。これから日本も人口が減りますので、海外に有機栽培や抹茶を売り出して行く。こういった若い方々の取組を応援していきたいと考えております。</p> <p>市としても私としても、お茶のイベントの開催であったり、この間は渋谷おはら祭りを開催したわけですが、その際もお茶のブースの設営をしまして、青年茶業の方々に来てPRをしていただきました。</p> <p>こういったところを通じて、人口減少局面においても、市外、県外、国外に松元のお茶を売っていけるように応援していきたいと考えております。</p>	産業局	市長回答のとおり
10	鹿児島市松元土地改良区	<p>旧松元町時代にダムができ、気温が5度になったら散水してお茶を瞬間的に凍らせて霜の災害を防ぐため、ダムから水をひいてきたのですが、ちょうど20年近くなるので、パイプなど色々なところが老齢化してきています。昨年は市道の中の大きなパイプが破損して、市道が3メートルぐらい陥没しました。一ヶ月半ぐらいでなんとか回復はしたのですが、人災の事故がなかったのは幸いです。そういう時に、鹿児島市から維持補修の助成をしてもらいたいと思います。</p>	<p>維持補修についても今後の課題であると思いますので、是非、国、県の優良財源も含めてしっかりと探して行きたいというふうと考えております。</p>	産業局	<p>市長回答のとおり</p> <p>松元ダムやダムに関連する施設は鹿児島県の所有ですが、その維持補修については本市も改良区への助成金で一部を助成しております。</p> <p>また、施設の長寿命化や改修を県が国の補助事業で実施しておりますが、その地元負担分については改良区や受益者の負担とせず本市が全額負担しております。</p> <p>今後とも国や県の優良な財源の活用を視野に入れつつ、引き続き効果的な支援を検討してまいります。</p>
11	個人	<p>子育て支援センターは、鹿児島市も4、5ヶ所あると思うのですが、松元地区で上谷口エリアからすぐ行ける所というのは石谷の保育園で少しやっている程度と認識しておりますので、教育の方に力を入れていただきたい。</p>	<p>子育て支援センターにつきましては、確保されるのが一番いいのですが、市内14箇所で整備をしております。松元ですでに1箇所整備をしておりますことから、まずはそちらをご利用いただきたいと考えております。</p>	こども未来局	市長回答のとおり

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和7年6月25日（水）18：00～19：00
場所：松元支所3階 大会議室

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	個人	お茶の里や体育館のところに公園があるのですが、上谷口エリアで、歩いて行くにはかなり坂道で遠く、そして老朽化も進んでいるという印象があります。	借り上げ公園という仕組みをご紹介したいと思います。これは民間の方が持っている土地を一定期間貸していただければそこで公園を整備しますというもので、いくつか条件があるのですが、公園からの距離であったり、安全に車が入れるかどうか、何メートル道路に接しているか、面積であったり、隣に家がある場合に地権者の方々のご理解が得られるかどうか、そのような条件を満たした土地については、市の方で借り上げて整備するという仕組みがありますので、こちらは是非、支所の方にご相談いただきたいと思います。その条件を踏まえて、こういった土地があって、地権者はこの方ですといったところでお繋ぎをお願いしたいと思います。	建設局 観光交流局	<p>【建設局】 市長回答のとおり</p> <p>公園緑化課へご相談ください。</p> <p>【観光交流局】 都市農村交流センターお茶の里については、施設の老朽化への対応など、今後も引き続き適切な維持管理に努めてまいります。</p> <p>松元平野岡体育館については、指定管理者と連携し、施設の老朽化の対応など、今後も引き続き適切な維持管理に努めてまいります。</p>
13	個人	鹿児島県全体でも発達障害の子供や通信制の生徒も増えているかと思えます。そのような学校に行けない子供たちのフリースクールなども含めた複合施設を、松元駅前のJAの跡地を市で買い取っていただいて、松元はお茶も有名なので、六次産業化も含めたカフェだったり、お茶の里みたいな物産館が入った、教育を含めた複合施設を提案したいと思います。	今、鹿児島市では、インターネットの仮想空間メタバースというものを活用しまして、不登校の子供たちの学びの場、居場所を作ろうという取組を進めております。フリースクールについては、支援自体がどうあるべきか県の方でも色々実態調査を行っているようですので注目をしていきたいと思っております。市としては、まずはこの居場所づくりをバーチャルな空間で取り組んでいくという先進的な取組を始めているところです。薩摩松元駅前の民有地についてはまずは民間の方の活用ということになろうかと思っておりますが、何らかの相談があり次第、色々な取組になるのかなというふうには思っております。	産業局 教育委員会	<p>【産業局】 【教育委員会】 市長回答のとおり</p>